

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

早期の胃がんはほとんど自覚症状がありませんが、検診での発見で早期に治療をすれば、**90%以上が助かります\***。また、早期発見により、**身体的にも経済的にも負担の少ない治療**で済み、早めに日常生活に戻ることができます。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・胃部X線検査  
または  
胃内視鏡検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

胃がん  
胃がん以外の病気

治療

異常なし

2年1回  
定期的ながん検診\*

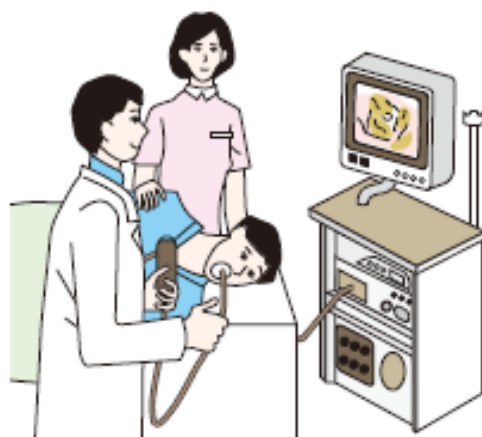
\*胃部X線検査は、1年に1回の場合もあります

## 主な精密検査の内容

### 胃内視鏡検査

喉の麻酔を行った後、口（または鼻）から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。疑わしい部分は、少量の胃の組織を採取し、がん細胞があるかなどについて顕微鏡で調べます。

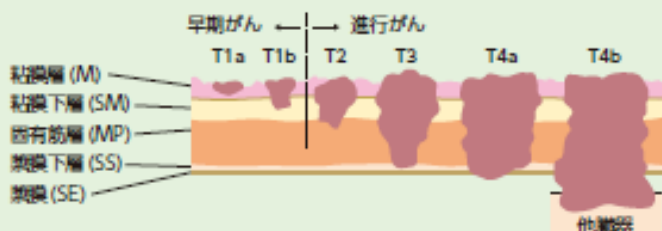
※胃がん検診で胃内視鏡検査を受けた場合でも、より詳しく調べるために再検査が必要になることがあります。



## 胃がんとは

胃がんは、胃の壁の内側の表面を覆う粘膜にできるがんです。がんが進行すると、粘膜下層から壁の内部に深く進み、リンパ節や近くにある大腸や膵臓にも広がったり、肝臓や肺に転移をきたします。

また、ヘリコバクターピロリ菌に持続感染すると、胃炎が持続し、胃がんに進展しやすくなります。



## お問合せ先

調布市健康推進課

電話:042-441-6100

FAX:042-441-6101

Mail: kenkou@city.chofu.lg.jp